

採血後のお願い

- 採血した部位はしっかり押さえ揉んだり力を入れるようなことは避けてください。

内出血や腫れの原因になります。

- すぐに運動をしたり重いものを持ちたりすることは避けてください。

- 止血テープで血管を圧迫して出血を止めるため5～10分後に出血が止まっていることを確認してはずしてください。

※完全に止まっていないときはお知らせください。

※皮膚刺激をできるだけ避けるため、止血テープは20分を目安にはがしてください。



採血後

【内出血が見られる場合】

通常1週間程度で改善します。

【内出血とともに採血部位が腫れている場合】

当日：腫れて痛みを伴うことがあります。

2～3日後：採血部位の付近が青紫色に変化します。しばらくは範囲が広がる場合もあります。

1週間後：茶色、緑色、黄色のように変化していきます。

2～3週間後：皮膚の色はほとんど元通りになってきます。

【採血部位に痛みやしびれをともなう場合】

1、当日は痛い方の腕を安静にし、痛みのあるところを冷やしてください。

その後蒸しタオルで温めると吸収が早くなります。

2、通常3日以内、ほとんどは1か月 長い方ですと3か月以内に症状が消滅します。

3、症状が強い場合や回復しないときは下記までご連絡ください。

特に症状が次第に悪化する場合は、至急最寄りの神経内科及び整形外科を受診してください。

気分が悪くなったとき

採血後気分が悪くなった時は、転倒・転落する危険性があるため横になって頭を低くして楽な姿勢をとりお知らせください。
この症状は血管迷走神経反射と考えられます。

【血管迷走神経反射とは】

採血時の痛みなどで副交感神経である迷走神経が優位に働く為に生じます。

全採血者の0.7%に発生し、献血時の合併症の72%を占めています。（日本赤十字社調べ）

年齢が若い方や採血回数が少なく慣れていない方に多いといわれています。

採血後5分以内に発生することが多いですが、採血前や時間が経ってから発生する場合があります。

【症 状】 気分不良、顔面蒼白、あくび、冷汗、悪心、めまいなど。

血圧低下、徐脈、呼吸数低下などを伴います。

さらに嘔吐、意識喪失、けいれん、尿失禁にいたることがあります。

【注意事項】 1、十分に休憩をとった後に帰宅してください。出来れば水分補給をしてください。

2、症状が軽快しても帰宅の際はなるべく一人では帰らないでください。

3、当日は入浴、飲酒、喫煙、激しい運動などは避けてください。

4、症状が再び悪化することはごく稀ですが、変化があれば下記までご連絡ください。

5、今後採血をされる際にも症状が生じる可能性がありますので、予め採血前に申告をお願いします。